



### くずまき牛乳はいかが 酪農家が首都圏でPR



都内の量販店でくずまき牛乳のPRをする(右から)大蛇和彦さん、川崎一也さんと町の松浦利明畜産係長と店の販売担当者。このほか山岸真奈美さん、辰柳勝之さん、千葉博英さんとJAの上家皆応さんも参加

町内の若手酪農家は1月20日、首都圏でタカナシ牛乳のPR活動を行いました。  
町内の酪農家が生産し、江川地区にあるタカナシ乳業の工場で製品化された牛乳を首都圏の消費者にPRしようと、若手酪農家など7人が参加。東京都内と横浜市内の3カ所の量販店に分かれ、店頭で「岩手くずまき牛乳はいかがですか。ただ今、くずまきワインが当たるキャンペーン中です」と、大きな声で呼び掛けながらチラシを配りました。タカナシ牛乳は消費者の安心・安全に対する信頼の高いことを実感した参加者らは、さらにおいしい牛乳を作ろうと、乳成分改善などへの意欲を高めていました。

### 権現舞で新春の幕開け 全国大会出場の激励会



新年交賀会に先立って行われた全国大会出場を激励する会で、力強く権現舞を披露する葛巻高校郷土芸能部

葛巻町町民憲章推進協議会(中村哲雄会長)は1月5日、ふれあい宿舎グリーンテージで、全国大会出場を決めた葛巻高校郷土芸能部を激励する会を開きました。  
部員らは、詰めかけた約120人の町民の前で勇壮な権現舞を披露。15分間舞い続けた高校生らは肩で大きく息をしながらも、新春にふさわしいさわやかな笑顔を見せていました。  
橋場綾部長(2年)は、「全国では一期一会の舞を披露してきます。町民の皆さんご支援をお願いします」と力強くあいさつ。中村会長から橋場部長に激励金が手渡され、参加者一同「最優秀賞を」と激励の拍手を送りました。

## 最高だ!

まちなか活性化の冬バージョンは「雪合戦」。1月25日、JRバス葛巻駅構内で初めての開催となった雪合戦

(まちなか活性化協議会主催)に小学生5チーム、一般の部に8チームが参加して冬のイベントに熱戦を繰り広げました。  
ヘルメットを着用して雪玉を相手に命中させたり、相手陣地の旗を奪ったりする競技で各チームの作戦が勝負を分けるポイント。会場では「それ行け〜」「逃げろ〜」と、歓声が響き渡りました。  
小学生の部は野球スポーツ少年団葛巻タイガースが、一般の部は町森林組合チームが初代優勝を飾りました。



駅構内に地元の5つの自治会が制作した雪像の前で行われた開会式で「子どもたちには一生の思い出になるでしょう」とあいさつする鈴木町長

## まちなかで初めての雪合戦



敵はどこだ〜。ドキドキ...

会場に設置されたトンネルのすべり台は人气的。冬のイベントを楽しむ子どもたち



競技開始。さあ行くぞ〜と意気込む森林組合チーム



巨大なモアイ像は浦子内自治会制作

### 町についての知識競う ものしり雑学王選手権

「当町に消防団が発足したのは何年?」「体育協会の会長名を漢字で書いて」など、町のことについて知識を競う第2回チーム対抗ものしり雑学王選手権は1月15日、主催したふれあい宿舎グリーンテージで開かれました。  
自称「我こそは葛巻通」の5人1組21チームが出場。三択式30問と記述式20問の計50問に挑みました。問題が進むにつれ参加者も真剣そのもの。「ん〜ん、難しい〜」の声もあちらこちらから。20分間の難問との戦いを終えた参加者らは、お互いに健闘をたたえながら町への認識を深めました。優勝チームの正解は34問でした。



「結構難しいよ〜」と、みんなで知恵を出し合うものしり雑学王選手権の参加者

### 昔の遊びはおもしろい 竹鉄砲などでいきいき

「わあ〜すご〜い!」総合センターの集会室に響き渡ったのは元気な子どもたちの歓声。  
冬休み中の1月13日、葛巻小学校児童クラブの子どもたち13人と、町内の高齢者が郷土料理や昔遊びなどで交流を深めました。  
ひつまみやかますもちを作ってみなで会食した後、「語り部の会」の藤岡一雄さんが方言を交えて町に伝わる昔話を語ると、子どもたちは「そしてどうなったの?」と、目を輝かせました。この後は昔遊びの時間。竹鉄砲やお手玉、あやとりなど、おじいちゃんやおばあちゃんのような魔法のような手さばきに目がくぎ付けになった子どもたちでした。



皆川竹男さん(左)が作った竹鉄砲は、細い竹にぬらしたティッシュを詰めて飛ばすもの。「パァーン!」と飛び出す音に「すごいね!!」と歓声を上げる児童クラブの子どもたち